



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月14日

上場会社名 マルシェ株式会社  
コード番号 7524 URL <https://www.marche.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 洋嗣  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤原 徹二

TEL 06-6624-8100

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,163	2.8	17	—	17	—	4	—
2023年3月期第1四半期	1,131	147.1	△87	—	△87	—	△88	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.61	—
2023年3月期第1四半期	△10.98	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,420	69	2.0
2023年3月期	3,648	62	1.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 69百万円 2023年3月期 62百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や生活様式の変容による消費ニーズの変化がもたらす影響の予測が不透明であり、各種諸施策を実施しておりますが、その成果を適正かつ合理的に算出することが困難であるため、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	8,550,400 株	2023年3月期	8,550,400 株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	522,130 株	2023年3月期	522,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	8,028,270 株	2023年3月期1Q	8,028,290 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	9
〔参考〕業態別出退店の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が緩和されたことに伴い、社会経済活動の正常化が徐々に進み、緩やかな回復傾向が見られています。一方でウクライナ情勢の長期化、物価上昇や円安の進行等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、経済活動の正常化につれて消費者の外食需要が回復しつつあるものの、原材料価格の高騰や人手不足が見込まれ、引き続き厳しい経営環境が予想されております。

このような状況の中、当社は中期ビジョンを「人・おいしさ・楽しさをモットーに地域社会からあつてよかったと思っただけのユニークなFC外食企業を目指す」と再定義し、収益改善と再成長の実現に向けて、4つの課題を解決してまいります。

- ①「構造改革」…本事業年度はさらなる直営店舗のスリム化を図り、収益の見込める店を優秀な独立希望社員に譲渡またはリース化を進めてまいります。その独立手法として、「経営者育成支援制度」を新設し、「経営を学びながら運営し、最大3年後に独立する」という内容を推進しております。併せて、支店機能を本社に集約することで徹底した管理コストの削減を図ってまいります。
- ②「既存店の強化」…「本物をおいしくちゃんとやる」をスローガンに掲げ、マルシェグループ全店において、サービス力の一定基準を満たし、お客様の受け入れ態勢を強化する制度として、「心の診療所認証制度」取得推進に取り組んでまいります。  
品質やサービスレベルの向上に取り組むことにより、お客様満足度の向上につなげ、販売価格の適正化を図ることで店舗の収益性を改善いたします。
- ③「新たなFCパッケージの創出」…新しい業態モデルとして、コロナ禍で培ったテイクアウトのノウハウを活かし、店頭でダイナミックな炭火焼で焼き上げるスタイルが特徴の新しいかたちの焼鳥屋「ニューとり屋」を開発いたしました。省力化によるオペレーションを取り入れ、女性スタッフや外国人スタッフの方も早期に馴染めるものとなっております。また、既存業態のリニューアルモデルとして、ハイブリッド酒場「はじめ」を開発いたしました。八剣伝の看板メニュー「焼鳥」と酒場とらずの看板メニュー「あて巻」という異なる業態の良いメニューが楽しめるお店で、当社がこれまでに培った複数の業態ノウハウを組み合わせたハイブリッドモデルとしております。
- ④「生産性の向上」…資本業務提携先であるチムニー株式会社との取り組みから、現在に至るまでに、関東地区・西日本の一部地域において共同配送を行うことで物流コストの削減を進めてまいりました。当事業年度においても、仕入関連・人材関連等、様々な分野において情報共有を図り、コスト削減に取り組んでおります。さらに、デジタルツールの導入により、お客様にモバイルオーダーでご注文を頂くシステムを導入することで、昨今の人手不足やコスト削減への対応に取り組んでおります。

このような取り組みを行った結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高は1,163,543千円（前年同期比2.8%増）、営業利益は17,543千円（前年同期は営業損失87,817千円）、経常利益は17,081千円（前年同期は経常損失87,354千円）、四半期純利益は4,889千円（前年同期は四半期純損失88,121千円）となりました。

#### 【当第1四半期の業績の概況】

	前第1四半期 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日	当第1四半期 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	1,131	1,163	31	2.8
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	△87	17	105	-
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	△87	17	104	-
四半期純利益又は四半期純損失 (△) (百万円)	△88	4	93	-
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失 (△)	△10円98銭	0円61銭	11円59銭	-

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2023年3月期末	当第1四半期末	増減
資 産	3,648	3,420	△227
負 債	3,586	3,351	△234
純 資 産	62	69	6
自己資本比率 (%)	1.7	2.0	0.3

当第1四半期会計期間におきましては、主に現金及び預金157,679千円の減少、売掛金68,581千円の減少等により、総資産が前事業年度末に比べ227,520千円減少し、3,420,867千円となりました。

負債は、主に買掛金73,320千円の減少、未払消費税等94,006千円の減少等により、前事業年度末に比べ234,180千円減少し、3,351,860千円となりました。

純資産は、主に四半期純利益の計上により6,660千円増加し、69,006千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や生活様式の変容による消費ニーズの変化がもたらす影響の予測が不透明であり、各種諸施策を実施しておりますがその成果を適正かつ合理的に算出することが困難であるため、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で速やかに公表いたします。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、前会計年度まで4期連続して営業損失、経常損失及び当期純損失を計上しておりましたが、当第1四半期期間において、営業利益17,543千円、経常利益17,081千円、四半期純利益4,889千円を計上しております。

しかしながら、新型コロナウイルスへの対応、ウクライナ情勢の長期化、物価上昇や円安の進行等、依然として今後の先行きについては不透明な状況が続いておりますので、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の中、当社は第1四半期末の現金及び預金の残高は2,161,512円であり、複数の金融機関等から資金調達を実施した後も継続した借入により当面の資金を確保しており、重要な資金繰りの懸念はありません。また、コスト圧縮等の対策や既存事業の再構築、デリバリーサービスの強化等により、売上拡大と利益確保に努めることで、業績の更なる回復に努めており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,319,192	2,161,512
売掛金	308,757	240,175
商品及び製品	33,112	35,837
原材料及び貯蔵品	26,242	21,995
未収入金	61,498	59,086
その他	52,979	62,027
貸倒引当金	△2,991	△3,519
流動資産合計	2,798,791	2,577,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	218,027	213,018
土地	149,366	149,366
その他(純額)	18,601	23,077
有形固定資産合計	385,994	385,461
無形固定資産	73,054	69,483
投資その他の資産		
差入保証金	321,542	318,047
その他	88,835	90,272
貸倒引当金	△19,830	△19,514
投資その他の資産合計	390,546	388,805
固定資産合計	849,596	843,750
資産合計	3,648,387	3,420,867
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	337,721	264,400
短期借入金	1,800,000	1,800,000
1年内返済予定の長期借入金	40,000	30,000
未払法人税等	33,487	7,329
賞与引当金	1,463	625
株主優待引当金	53,437	39,918
資産除去債務	4,000	9,498
その他	450,415	313,873
流動負債合計	2,720,525	2,465,645
固定負債		
資産除去債務	105,266	104,077
長期借入金	385,000	395,000
その他	375,248	387,137
固定負債合計	865,515	886,215
負債合計	3,586,040	3,351,860
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,029,920	3,029,920
利益剰余金	△2,620,346	△2,615,456
自己株式	△453,386	△453,386
株主資本合計	56,186	61,076

評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,159	7,930
評価・換算差額等合計	6,159	7,930
純資産合計	62,346	69,006
負債純資産合計	3,648,387	3,420,867

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,131,990	1,163,543
売上原価	432,453	458,625
売上総利益	699,536	704,917
販売費及び一般管理費	787,354	687,373
営業利益又は営業損失(△)	△87,817	17,543
営業外収益		
受取利息	134	115
受取配当金	283	324
受取家賃	2,588	2,628
賃貸収入	1,434	1,403
その他	1,721	2,413
営業外収益合計	6,162	6,884
営業外費用		
支払利息	5,640	5,156
損害賠償金	-	2,167
その他	58	22
営業外費用合計	5,699	7,346
経常利益又は経常損失(△)	△87,354	17,081
特別利益		
固定資産売却益	892	-
資産除去債務戻入益	6,451	-
特別利益合計	7,344	-
特別損失		
固定資産除却損	0	202
固定資産売却損	0	-
減損損失	-	4,300
特別損失合計	0	4,502
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△80,010	12,579
法人税等	8,111	7,689
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,121	4,889



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(第三者割当による種類株式の発行の払込完了、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は、2023年6月24日開催の定時株主総会において、第三者割当による種類株式の発行ならびに資本金及び資本準備金の減少について決議し、同総会において承認可決されました第三者割当による種類株式に関して、2023年7月31日付で払込手続きが完了いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

I. 種類株式の発行について

1. 発行の概要

(1) 払込期日	2023年7月31日
(2) 発行新株式数	A種種類株式290株
(3) 発行価額	1株につき1,000,000円
(4) 発行価額の総額	290,000,000円
(5) 増加する資本金の額	145,000,000円(1株につき500,000円)
(6) 増加する資本準備金の額	145,000,000円(1株につき500,000円)
(7) 募集又は割当方法	第三者割当の方法により近畿中部広域復興支援投資事業有限責任組合にA種種類株式290株を割り当てました。

2. 種類株式の発行による発行済株式総数及び資本金の額の推移

	発行済普通株式総数	発行済A種種類株式総数	資本金の額(注)
発行前	8,550,400株	0株	100,000,000円
発行後	8,550,400株	290株	245,000,000円

(注) 下記IIの通り、資本金の額に減少の効力が発生していますが、上記の発行後の資本金の額は、当該資本金の額の減少の効力発生前における金額を記載しております。

II. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について

1. 本資本金等の額の減少の目的

当社は、早期に財務体質の改善を図り、今後の機動的かつ柔軟な資本政策に備えるため、資本金の額及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分について第51回定時株主総会に付議を行い決議されました。

2. 資本金の額の減少の内容

(1) 資本金の額245,000,000円を145,000,000円減少させ、減少する資本金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えました。

(2) 資本金の額の減少が効力を生じた日 2023年7月31日

3. 資本準備金の額の減少の内容

(1) 資本準備金の額961,726,356円を全額減少させ0円とし、減少する資本準備金の額の全額をその他資本剰余金に振り替えました。

(2) 資本準備金の額の減少が効力を生じた日 2023年7月31日

4. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、上記2. 及び3. の資本金及び資本準備金の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金のうち2,620,346,510円を減少させ、その全額を繰越利益剰余金に振り替えることにより欠損補填に充当しました。

- |                  |          |                |
|------------------|----------|----------------|
| ① 減少する剰余金の項目とその額 | その他資本剰余金 | 2,620,346,510円 |
| ② 増加する剰余金の項目とその額 | 繰越利益剰余金  | 2,620,346,510円 |

3. 補足情報

〔参考〕業態別出退店の状況

		前事業年度					当第1四半期				
		自 2022年4月1日					自 2023年4月1日				
		至 2023年3月31日					至 2023年6月30日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	
	増減数					増減数					
直営店	酔虎伝	8	-	3	5	△3	5	-	1	4	△1
	八剣伝	49	-	9	40	△9	40	1	2	39	△1
	居心伝	5	-	3	2	△3	2	-	-	2	-
	串まん	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	八右衛門	4	-	1	3	△1	3	-	-	3	-
	焼そばセンター	4	-	2	2	△2	2	-	-	2	-
	マルケン	28	-	4	24	△4	24	-	-	24	-
	その他	6	-	2	4	△2	4	1	-	5	1
小計	105	-	24	81	△24	81	2	3	80	△1	
FC 加盟店	酔虎伝	10	-	1	9	△1	9	-	-	9	-
	八剣伝	215	4	21	198	△17	198	4	3	199	1
	居心伝	6	2	1	7	1	7	-	-	7	-
	その他	14	1	2	13	△1	13	2	-	15	2
	小計	245	7	25	227	△18	227	6	3	230	3
合計	350	7	49	308	△42	308	8	6	310	2	